平成12年度

# 村内遺跡

2 0 0 1

群馬県勢多郡富士見村教育委員会

## 例 言

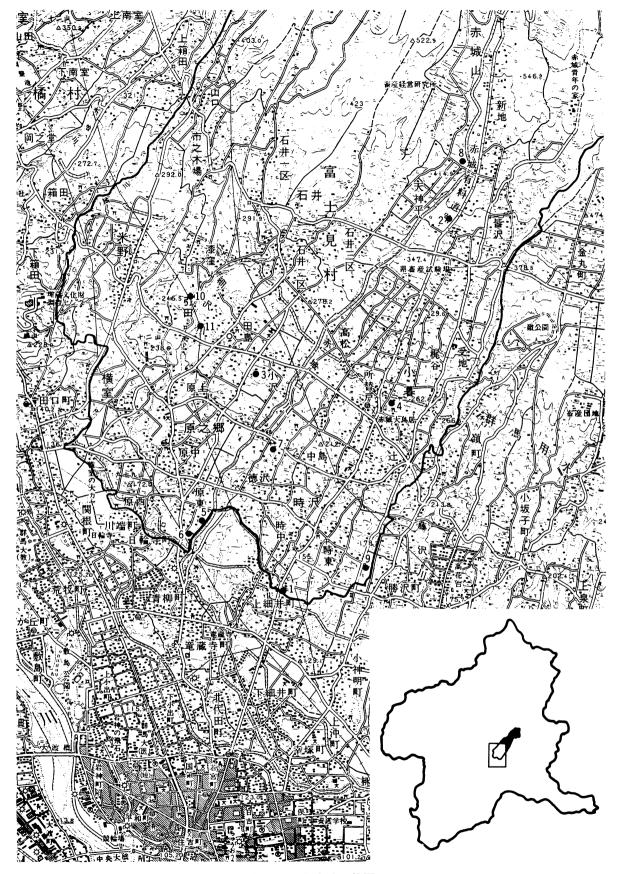
- 1. 本報告書は、平成12年度国庫補助事業として試掘調査を行った村内遺跡発掘調査報告書である。
- 2. 調査体制は、教育長 浅井多津男、教育次長 木暮英夫、事務局次長 狩野 勲、社会教育係長 齋藤 秀男、主事 福田貫之(担当)である。
- 3. 調査に要した経費は、国宝重要文化財保存整備費補助金、群馬県文化財保存事業費補助金、村費があてられた。
- 4. 各遺跡の所在地、調査期間等は本文中に記した。
- 5. 本報告書の編集・執筆等は福田が行った。
- 6. 本発掘調査における記録資料や出土遺物は富士見村教育委員会事務局で保管している。

## 凡 例

- 1. 第1図は国土地理院発行1:50000地形図「前橋」を用いた。調査地の地形図は富士見村役場発行1:2500 原形図を1:5000に縮小し用いている。
- 2. 地形図の方位は上が北である。トレンチ配置図の方位は一定していない。
- 3. トレンチ配置図の縮尺は一定していないが、各図に縮尺を表記している。
- 4. 出土遺物図の縮尺は1/3である。

### 目 次

例言•凡例		
	調査地の位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1.	時沢西紺屋谷戸遺跡	
2.	小暮北新地II遺跡·······	
3.	小沢鰻沢	
4.	小暮八幡	
5.	原之郷下白川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6.	原之郷下白川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
7.	時沢廣町······ g	
8.	赤城山大河原	
9.	時沢下百駄山1	
10.	引田高堰遺跡	
11.	引田高橋遺跡	
写真図版		



第1図 調査地の位置

## 1. 時沢西紺屋谷戸遺跡

#### 所在地

勢多郡富士見村大字時沢字西紺屋谷戸41-1外

#### 調査原因

自動車整備工場建設

#### 調査期間

平成12年4月4 • 7日

開発面積 2,837m²

**調査面積** 215m²



第2図 時沢西紺屋谷戸遺跡

#### 調査の経緯

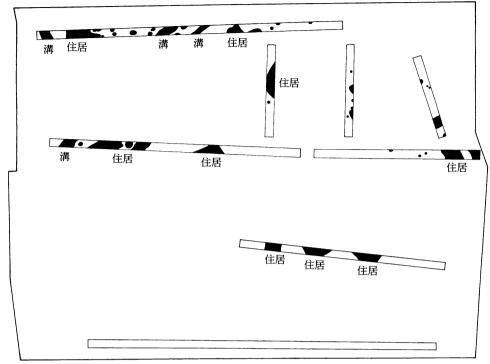
調査地は周知の遺跡ではなかったが、平安時代後期の竪穴住居跡と掘立柱建物跡を調査した東紺屋谷戸遺跡(平成3年度調査)に近接し、また現地確認の際に土師器・須恵器等の遺物が散布しており、遺跡の存在が予想されたため開発に先立ち試掘調査を行った。

#### 調査の結果

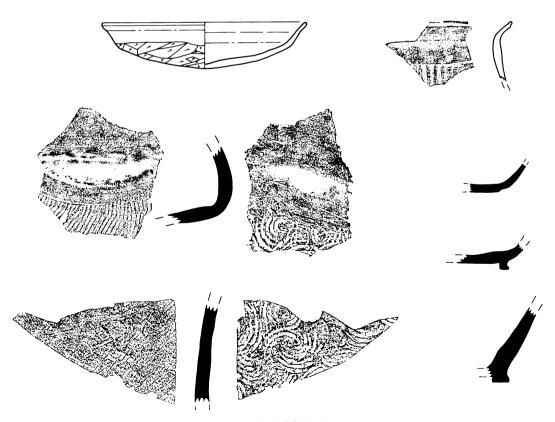
調査地の地形・形状に合わせて8本のトレンチを設定し、調査を行った。その結果設定したトレンチのほぼ全面から奈良~平安時代にかけての竪穴住居跡、柱穴、土抗等が検出された。トレンチによる確認では少なくとも住居跡は12軒確認され、土師器片、須恵器片、羽口片、鉄滓等が出土した。

これを基に事業者と協議した結果、十分な保護層が得られない場所については、本年度記録保存のための 発掘調査を行い、それ以外は盛り土による現状保存の措置を取った。





第3図 トレンチ設定図(1:500)



第4図 出土遺物図(1:3)

## 2. 小暮北新地II遺跡

#### 所在地

勢多郡富士見村大字小暮字北新地2420-55

#### 調査原因

建て売り分譲及び資材置き場造成

#### 調査期間

平成12年 4 月10日

開発面積

 $2,350 \,\mathrm{m}^2$ 

調査面積

235m²



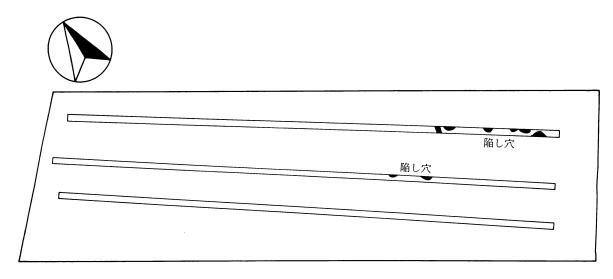
第5図 小暮北新地II遺跡

#### 調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、縄文時代の陥し穴と時期不詳の炭窯を調査した小暮北新地遺跡(平成10年度調査)に近接し、同種の遺構が予想されたため試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形に合わせて3本のトレンチを設定した。その結果、現地表下約40cm~70cmから縄文時代の陥し穴と見られる遺構が検出された。遺跡の保護措置は、事業者と協議したところ盛り土を行うことで合意し、遺跡保存に関する協定書を締結した。



第6図 トレンチ設定図(1:600)

## 3. 小沢鰻沢

#### 所在地

勢多郡富士見村大字小沢字鰻沢309-1

#### 調査原因

共同住宅建設

#### 調査期間

平成12年5月9日

開発面積 1,126m²

調査面積 123m²



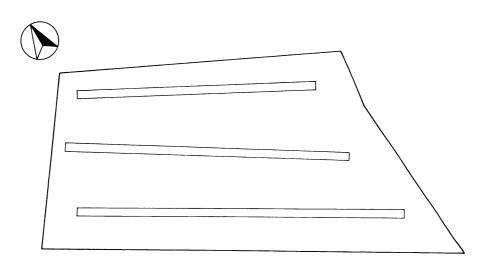
第7図 小沢鰻沢

#### 調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた段階で試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形に合わせて3本のトレンチを設定し調査を行った。各トレンチともローム面下まで掘削を 行ったが遺構・遺物は検出されなかった。よって開発地は遺跡地ではないと判断された。



第8図 トレンチ設定図(1:500)

## 4. 小暮八幡

#### 所在地

勢多郡富士見村大字小暮字八幡850-1

#### 調査原因

共同住宅建設

#### 調査期間

平成12年5月11日

開発面積 1,444m²

調査面積 114m²



第9図 小暮八幡

#### 調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、北方に埋蔵文化財包蔵地である小暮中原遺跡があり、遺跡地である 可能性があるため試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形・形状に合わせて4本のトレンチを 設定し調査を行った。その結果、対象地の北東部は 台地地形であったが、西南部は漸移的に西南に向 かって下り込む弱い合地状の地形であった。各トレ ンチともローム面まで掘削を 行ったが、近年の暗渠以外遺 構・遺物は確認できなかった。

第10図 トレンチ設定図(1:500)

## 5. 原之郷下白川

#### 所在地

勢多郡富士見村大字原之郷字下白川792番1外

#### 調査原因

共同住宅建設

#### 調査期間

平成12年5月22日

開発面積

1,897m<sup>2</sup>

調査面積

170m²



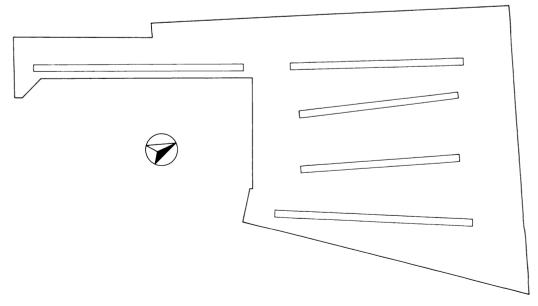
第11図 原之郷下白川

#### 調査の経緯

開発地は周知の遺跡である原之郷下白川遺跡に近接し、また遺物散布調査を行ったところ土師器、須恵器が発見されたため試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形に合わせて5本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、若干の遺物は検出したが、赤城白川の氾濫による砂礫層や粘性土が互層状に堆積しており、各面とも遺構は検出されなかった。よって調査地は遺跡地ではないと判断された。



第12図 トレンチ設定図(1:600)

## 6. 原之郷下白川

#### 所在地

勢多郡富士見村大字原之郷字下白川748番1外

#### 調査原因

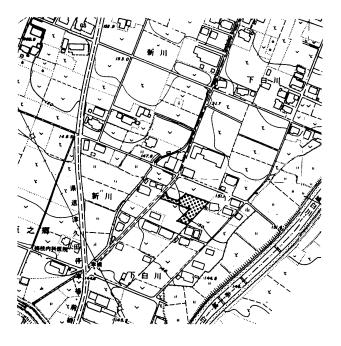
分譲住宅建設

#### 調査期間

平成12年6月29日

開発面積 1,071m²

**調査面積** 77m²



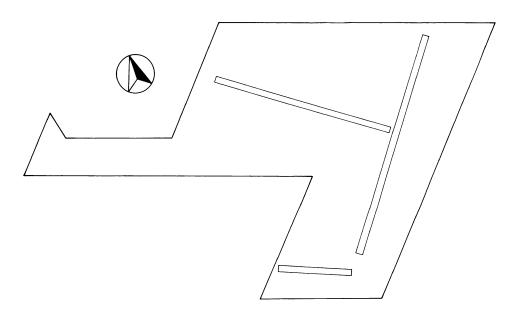
第13図 原之郷下白川

#### 調査の経緯

開発地は、古墳時代後期から平安時代の集落跡である旭久保遺跡(平成7・8年度調査)と周知の遺跡である原之郷下白川遺跡に近接するため、同種の遺構を予想し試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形に合わせて3本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、赤城白川の氾濫による砂礫層や粘性土が互層状に堆積しており、各面とも遺構・遺物は検出されなかった。よって、調査地は遺跡地ではないと判断された。



第14図 トレンチ設定図 (1:500)

## 7. 時沢廣町

#### 所在地

勢多郡富士見村大字時沢字廣町2323-1

#### 調査原因

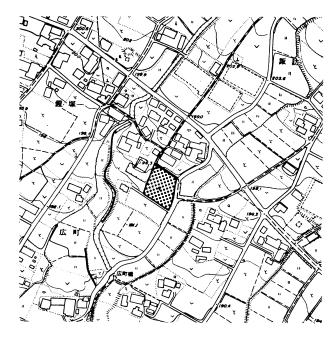
分譲住宅建設

#### 調査期間

平成12年7月10日

開発面積 1,561m²

**調査面積** 219m²



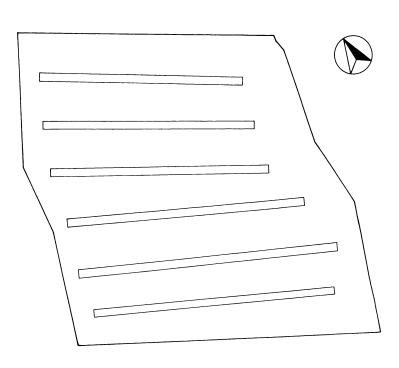
第15図 時沢廣町

#### 調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、北方に群集墳の1基とみられる鎧塚古墳が存在し、また富士見村誌によると周辺地域はかつて時沢古墳群が展開していた地域である。そこで、同種の遺構の存在を予想し、試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形・形状に合わせて 6本のトレンチを設定し、調査を 行った。その結果、各トレンチは ローム面まで掘削を行ったが、若 干の土器片は検出されたものの明 瞭な遺構は確認されなかった。そ のため、開発地は遺跡地ではない と判断された。



第16図 トレンチ設定図(1:500)

## 8. 赤城山大河原

#### 所在地

勢多郡富士見村大字赤城山字大河原1073番1外

#### 調査原因

分譲住宅建設

#### 調査期間

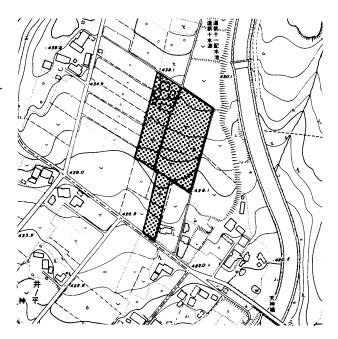
平成12年8月1・2日

開発面積

10,553m²

調査面積

550m²



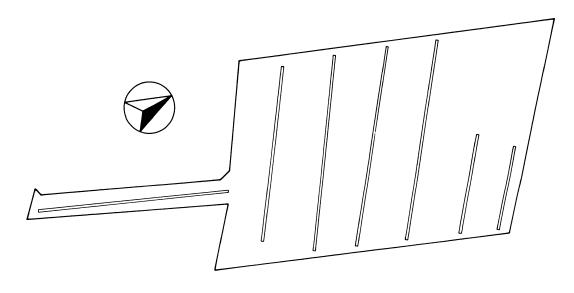
第17図 赤城山大河原

#### 調査の経緯

開発地は周知の遺跡ではなかったが、縄文時代の陥し穴と時期不詳の炭窯を調査した石井柴山遺跡(平成 8年度調査)の北方にあたるため、試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形に合わせて7本のトレンチを設定し調査を行った。各トレンチはローム面まで掘削したが、 遺構・遺物は検出されなかった。そのため、開発地は遺跡地ではないと判断された。



第18図 トレンチ設定図 (1:750)

## 9. 時沢下百駄山

#### 所在地

勢多郡富士見村大字時沢字下百駄山1363番1

#### 調査原因

露天資材置き場

#### 調査期間

平成12年10月 4 日

開発面積 2,898m²

調査面積 200 m²



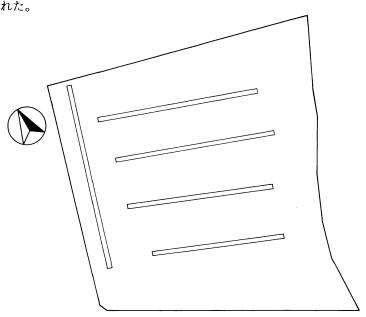
第19図 時沢下百駄山

#### 調査の経緯

調査地は古墳時代から平安時代までの集落跡である組之木原遺跡(平成7年度調査)に近接しており、同種の遺跡の可能性を考え、開発が把握できた段階で試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形・形状に合わせて5本のトレンチを設定し調査を行った。各トレンチはローム面まで掘削を行ったが、土師器の小破片が1点出土したのみであり、遺構は確認されなかった。そのため、開発地は遺跡地ではないと判断された。



第20図 トレンチ設定図(1:800)

## 10. 引田高堰遺跡

#### 所在地

勢多郡富士見村大字漆窪字東宿原253番2外

#### 調査原因

鉄塔建設

#### 調査期間

平成12年11月17日

開発面積 121m²

調査面積 10m²



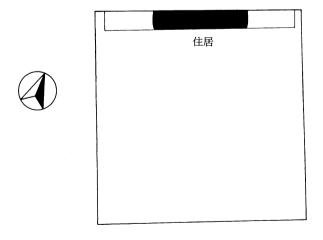
第21図 引田高堰遺跡

#### 調査の経緯

開発地は周知の遺跡地内であり、遺物散布調査を行ったところ縄文時代中期と思われる土器・石器、平安時代の土師器・須恵器が確認された。このため事業者と協議し遺構が確認された際には発掘調査を行うことで合意し、試掘調査を行った。

#### 調査の結果

開発地の地形に合わせてトレンチを設定し調査を行った。その結果、表土下約55cmから縄文時代の住居跡が検出された。この結果を基に今年度、発掘調査を行った。



第22図 トレンチ設定図 (1:200)

## 11. 引田高橋遺跡

#### 所在地

勢多郡富士見村大字田島字前保貝戸473番1外

#### 調査原因

鉄塔建替

#### 調査期間

平成12年12月21日

開発面積

 $72m^2$ 

調査面積

 $27 \text{m}^2$ 



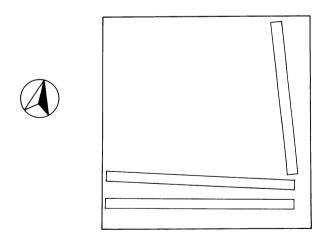
第23図 引田高橋遺跡

#### 調査の経緯

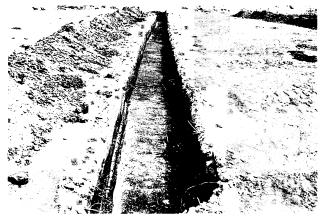
開発地は周知の遺跡である引田高橋遺跡内であるため、開発に先立ち試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の地形に合わせて3本のトレンチを設定し調査を行った。その結果、表土下約30cmでローム面が検出されたが、遺構・遺物は確認されなかった。そのため、工事着手には問題がないと判断した。



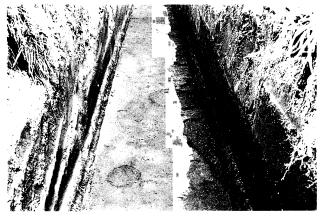
第24図 トレンチ設定図(1:200)



1. 時沢西紺谷戸遺跡 トレンチ掘削状況



2. 時沢西紺谷戸遺跡 遺構検出状況



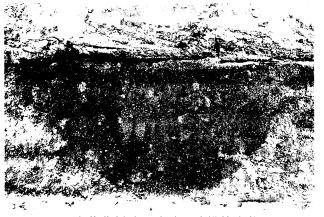
3. 時沢西紺谷戸遺跡 遺構検出状況



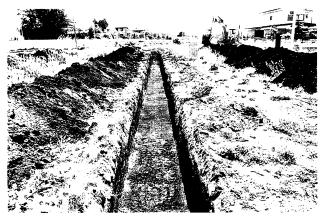
4. 時沢西紺谷戸遺跡 遺構検出状況



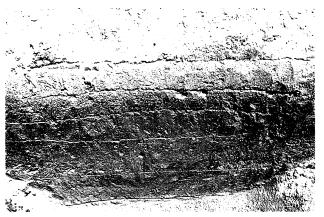
5. 小暮北新地 II 遺跡 トレンチ掘削状況



6. 小暮北新地 II 遺跡 遺構検出状況



7. 小沢鰻沢 トレンチ掘削状況



8. 小沢鰻沢 土層堆積状況

## PL 2



1. 小暮八幡 トレンチ掘削状況



2. 小暮八幡 トレンチ掘削状況



3. 原之郷下白川 トレンチ掘削状況



4. 原之郷下白川 トレンチ掘削状況



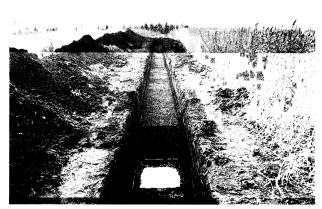
5. 原之郷下白川 土層堆積状況



6. 原之郷下白川 作業風景



7. 時沢廣町 トレンチ掘削状況



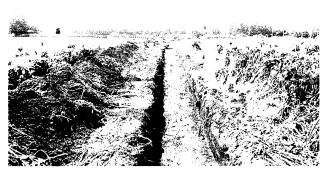
8. 時沢下白駄山 トレンチ掘削状況



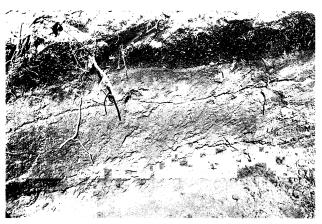
1. 時沢廣町 トレンチ掘削状況



2. 時沢廣町 土層堆積状況



3. 赤城山大河原 トレンチ掘削状況



4. 赤城山大河原 土層堆積状況



5. 赤城山大河原 トレンチ掘削状況



6. 時沢下白駄山 土層堆積状況



7. 引田高堰遺跡 トレンチ掘削状況



8. 引田高橋遺跡 トレンチ掘削状況

## 平成12年度 **村 内 遺 跡**

平成13年 3 月23日印刷 平成13年 3 月30日発行

編集·発行/群馬県勢多郡富士見村教育委員会 群馬県勢多郡富士見村大字田島866-1 電話(027) 288-6111

印刷一朝日印刷工業株式会社